

副理事長御挨拶 「2026年新年度を迎えて」

特定非営利活動法人産業人OBネット
副理事長 板倉範幸



産業人OBネットの会員並びに団体会員の皆さまにはいつも大変お世話になっており、この場をお借りして御礼申し上げます。

ビジネスでは、IT化による人手不足の自動化、更にDXからGXへと大きく変化しています。

一方世界情勢に目を向けますと、ウクライナ侵攻が5年目に突入し、收拾の目途も立たないなか、今年2月イスラエルと米国がイランを攻撃し、ホルムズ海峡封鎖による「世界中のエネルギー、石油関連製品の未曾有の供給不足」に陥り、世界経済の先行き不透明感が増しています。皆様方の周辺でも多くの企業様におかれまして、計り知れないインパクトを受けておられることかと存じます。日本を取り巻く国際情勢も不安定さを増し、国内もインフレが加速し資材費の高騰・品不足が皆様の経営にも大きな影響を与える状況が続いておられると推察申し上げます。

その様な環境下で、OBネットと致しましては、出来る限り企業の皆様に寄り添った支援をさせて頂ける様に、私共のアドバイザー自身が研鑽を積み、企業の皆様へ最新の情報提供・様々な相談に対応させて頂ける様に努めて参ります。

新年度を迎えるにあたり、OBネットの今年度の取り組みをご紹介します。

- (1) 5月13日の総会は、今年度も昨年に引き続きリアルで開催することができ、合わせて懇親会も盛会でした。(詳細は次ページ以降を参照願います)
- (2) 昨年秋より理事会メンバーによる「アクションプラン」活動を展開し、全部門における課題の掘り起こし、改善に向けての施策展開、組織横断型の活動を進めてまいりました。現在展開している主な活動内容は以下の内容です。
 - ① 新規ニーズ案件の掘り起こし精度向上活動（組織横断型チーム活動）
 - ② 各団体・金融機関との連携強化。産業メッセのビジネスマッチングを通じた強化策の展開。
- (3) 今年20周年を迎えるにあたり、以下のコンセプトのもと、推進することにしました。
 - ① 20周年行事は「過去から現在までの歩みと、将来に向けての大事な通過点」ととらえ、
 - ② ステークホルダーに産業人OBネットを理解してもらうため、単に支援活動だけでなく、OBネットが携わるあらゆる活動を紹介するため、全部門で整理中。
- (4) 今回の「OBネット便り」に「団体会員の周年行事紹介」並びに「新会員紹介」のコーナーを設け、皆様の情報共有の場としてご活用頂くようにしました。

第20回通常総会開催

2026年5月13日、神戸市産業振興センター会議室にて第20回通常総会が開催されました。昨年同様「対面形式」で開催され、議長に井上理事長を選出し、審議が行われました。

議案は下記のとおりで、賛成多数ですべて可決承認されました。

第1号議案 2025年度事業報告及び活動決算に関する事項

第1号議案の1：2025年度事業報告書

第1号議案の2-1：2025年度活動計算書

第1号議案の2-2：2025年度貸借対照表

第1号議案の2-3：2025年財産目録

監査報告書（2026年4月25日付）

第2号議案 2026年度事業計画及び活動予算に関する事項

第2号議案の1：2026年度事業計画書(案)

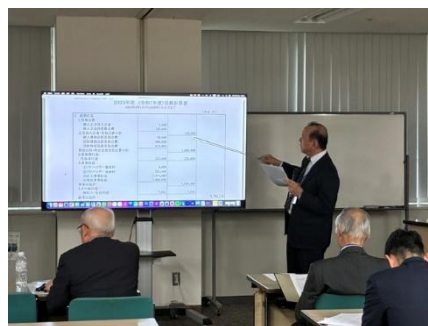
第2号議案の2：2026年度活動予算書(案)

第3号議案 議事録署名人の選任に関する事項

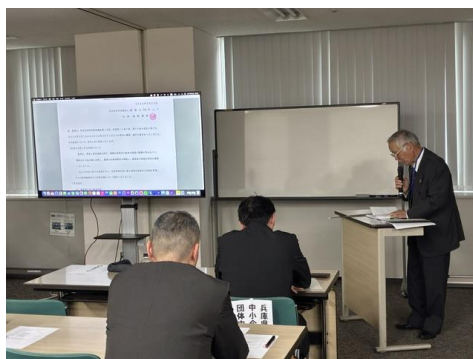
なお、出席者は会場出席者32名および書面表決・委任状29名の合計61名で、オブザーバーとして団体会員企業3社（株式会社ハマダ、兵庫県中小企業団体中央会、株式会社カワサキライフコーポレーション）の参加をいただきました。総会終了後、10階レストラン「はあとす」で懇親会が開かれました。



ご挨拶(井上理事長)



会計報告(白川理事)



監査報告(森崎監事)

総会終了後「懇親会」開催

懐かしい顔も見えますね！



南本圭一様(中央会・団体会員)のご挨拶



中締め:服部副理事長

恒例の板倉副理事長の「一本締め」で新年度の門出を祝う



トピックス

西海酒造様による試飲会
昨年に引き続き、団体会員の西海酒造様のご厚意で、同社自慢の銘酒「空の鶴」の試飲会を設けて頂き、大好評でした。



西海会長のご挨拶



1. 事業実施の基本方針

当法人は、本年設立20周年を迎え、個人会員（正会員と賛助会員）およびアドバイザーが88名、団体会員（特定会員と賛助会員）は58社・団体でのスタートとなる。

先述したように、アメリカとイスラエルのイランへの攻撃により、ホルムズ海峡の封鎖等で、世界の石油価格が高騰し、世界中のエネルギー並びに石油を原料とした多くの製品の枯渇・高騰を招き、各国が未曾有の経済危機に直面している。今後少なくとも半年から1年は昨年の「相互関税」による影響以上に国内外の幅広い産業に及ぶとみられ先行きが不安定となっている。さらに円安の影響による輸入原材料の高騰、物価高、人手不足など中小企業を取り巻く環境はかつてない厳しいものになることが予想され、すでに各所で現実化してきている。

このような状況下で、当法人がおかれる環境は昨年度に引続き今年度も大きく変化することになる。従来予定していたプロジェクト案件の「中小製造業訪問調査事業」（以下、K G K）が受注出来なかった。また「国際フロンティア産業メッセビジネスマッチング事業」

（以下、産業メッセ）は受注できたものの昨年度同様緊縮予算のままで回復の見込みは無い。今年度は（公財）こうべ産業活性化センターが公募する「価格転嫁円滑化支援専門家派遣事業等に関するものづくり企業発掘業務」にも果敢に応募したが逸注。その他中央会や金融関係、各商工会議所と連携を図りながら、新規案件の発掘に努めていく。これらは昨年から展開してきたアクションプランの一環として推し進めていく。20周年を一つの節目として、「過去の歩み」「今後の展開」を整理し、「OBネット」の活動を「理念」も含めて見つめ直すことを検討していく。

2. 受託プロジェクト案件の対応

（1）「国際フロンティア産業メッセ2026」効果的マッチング体制の整備。

3. 企業ニーズ調査・支援活動の強力な推進

- （1）ニーズ調査による企業への働きかけの強化及び新規案件の発掘。
- （2）ニーズ案件に対するアドバイザー公募・マッチング成立への取り組みの強化。
- （3）個別支援活動の推進。
- （4）業務委託契約書などのチェック体制の強化。
- （5）案件発掘の強化。

4. 出前教育活動の積極的推進

- （1）スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の課題研究指導・助言の取り組み。
- （2）企業個別支援では、企業の実態に沿った効果の上がる研修を実施、新規支援を進める。
- （3）ポリテクセンター兵庫の生産向上支援訓練では、登録分野の拡大を進める。
- （4）補助金申請支援累計を再整備し、昨年以上の件数を目指し支援拡大・強化していく。

5. 海外支援活動

「海外支援チーム」として、神戸市海外ビジネスセンター及びJICA等との連携を図る。

6. 公的機関との連携

関係各団体・金融機関と連携を強化し、OBネットへの支援要請検討を依頼する。。

7. 団体会員への訪問・コンタクト

更なる交流を深め、新しいニーズの掘り起こしを推進する。

8. 広報活動・情報発信

会員以外の多くの方にも閲覧頂ける様、HPのコンテンツ等の見直し改善を図る。

9. 主要年次イベントの開催

企業&AD合同プレゼン&交流大会、情報交換会、新人研修会、(AI)勉強会。

10. 設立20周年記念行事(11月11日開催予定)

11. 財政健全化

2026年度は、従前受託していた大型案件が無くなり、収益大幅減少が見込まれる為、委託業務費・交通費等の一部削減に取り組む。

管理部門（総務部・情報管理部・広報研修部・経理部）の今期の活動

1. 【管理部門】

OBネットは、**【現役時代に培った経験・知見と人脈を活かし、地域社会の発展に寄与する事を目指し組織したボランティア団体】**です。

会員・ADは、この趣旨・目的に賛同し、企業支援に自らが参画し貢献する事により、自らも遣り甲斐を感じる事を期待して入会し活動しております。

今期は**設立20周年**に当たりますが、現在の世界情勢が混沌とする中で、支援先の国内の中小企業を取り巻く環境はもとより、OBネットを取巻く環境も大きく変化し、個別案件を含め受託に影響を与えています。

収益の主体であったプロジェクト案件についても、既述の通り、従前継続受託していた「こうべ産業・就労支援財団」案件、新たな「ひょうご産業活性化センター」案件が受託出来ず、今年度は厳しい運営が見込まれます。

については、管理部門に於いても管下の全部門に於いて、更なる効率的な業務の運営と各経費の見直し削減が求められております。

この様な環境変化に対応する為、OBネットとしては受託案件をより広い業種業態から発掘し収益増を図ると共に、より多くのADに活躍の場を提供し、支援依頼企業の期待に応えられる支援環境と体制づくりを行って参ります。

【事務局】としては、支援依頼元の企業・団体はもとより、外部ステークホルダーに対しても一層の信頼性の向上を図り、ADの活躍の場をさらに広げてフォローして参ります。

2. 【各部門の今年度指針】

(1) 【総務部】

規程の見直し・更新・管理・整備。団体会員の会員管理と団体会員窓口担当者の支援活動フォロー。認定NPOの再取得を目指し、各部門に亘る資料の再確認・整備を進める。パブリックサポートテスト(PST) [相対値基準・絶対値基準・個別の条例指定] をクリアして参ります。

(2) 【情報管理部】

運営管理システム (Dropbox・X-server) 等の管理・運営。会員(個人・団体)、関連企業の各種情報 (DB) の管理・運営・漏洩防止。

(3) 【広報研修部】

年度の各種イベント、月例の情報交換会の企画・コンテンツ充実・PR開催・運営、また、HPの運営管理、掲載内容の構成・内容の改訂を含め、新たな試みにチャレンジ、さらに外部への広報発信活動により、各イベントへの参加者の増加を図って参ります。

(4) 【経理部】

財務会計と管理会計の処理をより明確化し、DX推進と各証憑のPDF化と共に、入金 (支援金・寄付金・協力金)、支払 (謝金・交通費・他) のチェック強化と、20周年記念へ向けた資金管理を行って参ります。

1. **プロジェクト案件の状況**：産業人OBネットの事業の多くを占めてきたプロジェクト案件が今年度は低調な受託状況にあり、これを補うため「個別案件」に注力する必要がある。
 - (1) **国際フロンティア産業メッセ2026**：今回で2012年から15年連続、ビジネスマッチング業務を（公財）新産業創造研究機構から受託した。（業務委託契約締結済み）活動期間（6月～12月）：メッセ当日：9月3日（木）～4日（金）
 - (2) 神戸市中小企業訪問事業（通称KKG）（公財）こうべ産業・就労支援財団の公募（最低価格落札方式）に応募し、残念ながら逸注した。（昨年まで11年連続受注）
 - (3) 「令和8年度価格転嫁円滑化支援専門家派遣事業等に関するものづくり企業発掘業務」（公財）ひょうご産業活性化センター（プロポーザル方式）：に応募し、逸注。

2. 勉強会：

今年の年間テーマは「AI」であり、会員だけでなく団体会員の聴講参加も増えている。特に「生成AI」の活用やリスクについて関心が高い。「クロード・ミュトス」等。

3. 支援活動事業部各部門の活動

(1) 【業務部】

従来の契約書の横通し業務に加え、昨年秋からのアクションプラン事務局として活動。関連して、20周年記念行事事務局としても参画。

(2) 【サポート部】

先述のごとくプロジェクト案件が不調なため、個別案件のニーズ発掘増加並びにニーズ精度の向上は喫緊の課題となっている。アクションプランで組織の横通し機能の要として活動中。「ナビチーム」の活性化とともに

①「海外支援チーム」：活動を新規に活発化させることを推進している。

(3) 【プロジェクト開発企画部】

産業メッセの活動を確実に実施し、来年に繋がる実績を残すことに注力する。また同事業のビジネスマッチングに協力いただいた各団体や金融機関とも連携を強化し、他の個別案件に繋がるように働きかけていく。

(4) 【出前教育部】

SSH（スーパーサイエンスハイスクール）関連：

今年も神戸高校とSSH指導の「覚書」を8年連続で締結し、5名のSA（サイエンスアドバイザーが指導にあたる。今年と同校130周年にあたり、130年誌のSSH特集記事6ページの最後に、産業人OBネットが指導したことで、課題研究の質が上がったとの記事がかなりの紙面を割いて掲載されている。

今後引き続き支援していく。

明石北高校のSSH運営指導委員を今年も兵庫県教育委員会から委嘱され、指導に当たっていく。

各企業向け出前講座・研修：

教育メニューが充実してきており、「管理者研修」「安全」「品質」「DX」「サイバーセキュリティ」等各企業からの要請に応える体制となっている。ポリテクへの講師派遣もしっかり対応できる。

「補助金支援チーム」：昨年発足したチームを中心に申請支援体制を整備して来た。その間2件の案件を支援する実績を上げた。今後申請支援者の発掘に注力していく。



まっている。卒業生、地域人材の活用として、課題研究ではNPO法人産業人OBネットの方に毎週、支援を受けている。この地域人材活用の取り組みモデルとして、全国のSSH校に提示されている。



例年、産業人OBネットの方と課題研究の指導に関する「覚書」を交わしている。

18回目を迎えるサイエンスフェアin兵庫も、本校職員の参加協力に支えられて、実施を続けてきた。

IV. 卒業生に支えられたSSH事業

本校SSH事業は2013年度第III期より「卒業生の力を生かした科学技術人材の育成」を研究テーマとし国からの支援を受けてきた。本校卒業生の力によって、SSH事業が支えられているといっても過言ではない。この10年間、課題研究の支援をいただいている産業人OBネットとの関係を構築できたのも卒業生であるOBネット板倉範幸副理事長（19回生）、中野直和理事（20回生）のご尽力によるもので、本校生徒の研究が全国大会や各学会において成果を上げることができたのもOBネットの方々のご支援のおかげである。

団体会員周年記念事業紹介（1/2）

先述のように産業人OBネットは今年設立20周年を迎え、11月11日に記念行事を計画しています。日頃お世話になっている団体会員の皆様の中で、産業人OBネット同様節目の年を迎えておられる下記5社をご紹介します。団体会員担当ADからの情報をもとに作成させていただきました。もし該当されている企業で紹介漏れがある場合は次回ご紹介させていただきます。

1. 株式会社PEANUTS：15周年記念（ウェブデザイン、システム開発、ITコンサル等）

住所：〒667-0003 兵庫県養父市八鹿町宿南2589-1

TEL:079-662-8331 FAX：079-662-8332

創業:2011年5月

代表者：代表取締役 高谷美智子

URL:<https://www.peanuts-co.jp/>

Mail :info@peanuts-co.jp



15周年ロゴ



高谷社長

弊社は、おかげさまで本年5月に創業15周年を迎えることができました。

これまでご支援いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

創業以来、私たちは「お客様に寄り添うITコンサルタント」として、お客様と同じ目線で課題を考え、一緒に解決策を見つけることを大切にしてきました。時には悩み、時には喜びを共有しながら歩んできた15年は、かけがえのない財産となっています。

ITの世界は日々進化し、DXやAIなど新しい技術が次々と登場しています。そんな中でも、私たちが大切にしたいのは、技術ありきではなく「お客様にとって本当に必要なこと」を一緒に考える姿勢です。

これからも、皆様の身近なパートナーとして、より良いサービスをお届けできるよう努めて参ります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。（高谷美智子）

2. 株式会社日海プラント機工：40周年記念（産業機械据え付け工事、倉庫業等）

住所：〒650-0041 神戸市中央区新港町8-2

新港貿易会館

TEL:078-333-7664 FAX：078-333-7620

代表者：代表取締役 森田優子

Mail: yuko.morita@nikkaiplant.com

森田社長



40周年のロゴ



レンチは、小さくシンプルな工具ですが、機械や構造物を創り出すために欠かせない存在です。

一本の工具と、一人の人間の手から、やがて大きな機械や設備が生まれていく。

このロゴには、そんな「基礎からおおきな力を生み出す」日海プラント機工の想いを込めました。

濃紺のカラーは、確かな技術と、変わらぬ信頼の象徴です。

設立40周年の感謝とともに、

これからも誠実な仕事を積み重ねて参ります。（森田優子）

団体会員周年記念事業紹介（2/2）

3. 立神工業株式会社：55周年（機械・配管設計、人材派遣業等）

住所：〒673-0892 明石市本町2丁目9番6号（RS本町ビル）
TEL:078-919-1889 FAX：078-919-1196

代表者：取締役社長 伊藤一光

URL:<https://resave.jp>

同社は55周年は特別に行事を予定していないとのことで、ご紹介だけに留めます。

4. 株式会社井上鉄工所：70周年（金属機械加工業）

住所：〒671-1242 姫路市網干区浜田1287-10
TEL:079-272-1395 FAX：079-272-4579

創業：1956年11月

代表者：代表取締役社長 井上 修

Mail: inoue1434@ironworks-inoue.jp



井上社長
70周年記念ロゴ

弊社は創業以来、精密機械加工のスペシャリストとして、各種の最新全自動多機能工作機械の導入、NPSの新生産システム採用により、超精密化時代への迅速な対応と、パワフルなニューファクトリーへと絶えず変化し続けています。100年企業を目指して、今後も精進を重ねて参ります。なにとぞ宜しくお願い致します。（井上 修）

5. 株式会社ハマダ：120周年（プラント、建設工事、運送等）

住所：〒671-1234 姫路市網干区新在家1261-12
TEL:079-272-1081 FAX:079-273-3547

創業：1906年12月

代表者：代表取締役社長 帽田泰輔

URL:<https://hamada-inc.com>

Mail: h-masuda@hamada-inc.co.jp



「“濱田組“発祥の地”
の碑（於 記念館）

弊社は、創業明治39年で、石油化学プラントを主体に化学機械装置の設計・製作をはじめ、機器据付工事、配管工事からプラント保全工事までのトータルケア事業、土木・建築・不動産等のインフラ整備事業、また大型クレーンによる揚重作業及び特殊車両を含む陸上輸送、構内運搬等の物流事業をトータルに行う多角化企業です。高い技術力と自社での一貫して管理を行う体制において、総合力でお客様のニーズに幅広くお応えしております。

（帽田八郎）

皆様、「周年記念」おめでとうございます！！益々のご隆盛を祈念しています！！

株式会社フクイ金属

住所：〒679-0222
兵庫県加東市高岡226
TEL：0795-48-4641
FAX：0795-48-5195
設立；1972年9月
代表者：福井由美子
HP: <https://fukui-material.com/>
Email: yumiko.f@fukui-material.com



ご挨拶

弊社は精密部品加工一筋に創業57年と長い歴史を歩んできました。10年前にJISQ9100の認証を取得し航空機部品を加工し納めることとしています。管理体制は弊社の強みでもあります。また弊社独自のロウ付けバイトで加工を行うことも強みの一つです。(特許申請中)
弊社は「モノづくりへこだわりを持ち人々が幸せに暮らせる未来を創る挑戦をする」このような理念のもと色々なことへチャレンジしています。



角材は自社製作の
特殊深ミゾいれ刃物

産業機械部品
ヌスミ加工あり



航空機用部品

今は、静岡大学能見研究室で衛星部品加工での参画をさせて頂いています。OBネットとは板倉様にお声をかけて頂き、そこからのお付き合いになります。特許申請の機会もこのOBネット様との関りから実現致しました。こちらの会は主に福井由美子が参加させて頂きます。宜しくお願い致します。